

2020 年度第 1 回定例理事会抄録

日時： 2020 年 4 月 18 日（土）13：00～16：29

方法： Zoom システムによる Web 会議

出席： 中村（会長）、香山、宮口（副会長）、大庭、酒井、佐藤、清水、藤井、三澤（一）、
村井（常務理事）、池田、岩佐、岡本（佳）、梶原、小林、関本、高島（千）、谷、谷
川、三沢（幸）（理事）、長尾（監事）

陪席： 能登、小賀野、長井（委員長）、岩上（財務担当）、安藤（辻・本郷税理士法人）、
宮井（事務長）、氏家（内部 SE）、杉田、高島（紀）、遠藤、茂木

I. 報告事項

1. 議事録

1) 2019 年度第 2 回臨時理事会（3 月 24 日） 書面報告。

2) 2020 年度第 1 回臨時理事会（4 月 3 日） 書面報告。

2. 会長専決事項

1) 会員の入退会について 書面報告。

2) 水害被災会員の会費免除について 書面報告。

3) 学術誌『作業療法』第 38 巻（2019 年）掲載論文の表彰について 書面報告。

3. 新型コロナウイルスへの対応について

1) 会長メッセージ「新型コロナウイルス（COVID-19）への協会の対応」

2) 国民向けメッセージ「みなさんの健康を応援します」（中村会長） 会員向けと国民向けのメッセージを会長から発信している。国民向けは 2 週間に 1 回程度、会員向けは月 1 回程度を目標に更新していきたい。

4. 2019 年度の会員数と組織率の確定について 書面報告。

5. 2020 年度定時社員総会の議案書について 書面報告。

6. 第 53 回日本作業療法学会（福岡）の全体収支の一部修正について（岡本理事・財務担当） 以前報告した福岡学会の資料が一部間違っていたため修正した。監査も行った。

7. WEB 会議システムを使用した研修会開催について【経過報告】（藤井常務理事・教育部長） 新型コロナウイルス対策のため、e ラーニングを加速させたい。厚生労働省指定臨

床実習指導者講習会を Zoom を使用して行えるよう準備を進めている。

8. 2020 年度「地域包括ケアに貢献する精神科作業療法の在り方」実施計画について（村井常務理事） 資料 06 に沿って説明した。

9. 医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアの推進に関する検討会取りまとめについて 書面報告。

10. 令和 3 年度介護報酬改定に向けた要望案について（村井常務理事・制度対策副部長）ご一読いただき、今月中にご意見をいただきたい。

11. 介護保険における「保険者機能強化推進交付金」について 書面報告。

12. 後期高齢者医療の調整交付金の交付額の算定に関する省令第 6 条第 9 号に関する交付基準について 書面報告。

13. 協会 Web サイトのアクセスログ（2020 年 3 月期） 書面報告。

14. APOTRG Executive Management Team (EMT) Meeting 報告 書面報告。

15. 作業療法白書 2020（仮称）のアンケート作成にかかわる WG 設置について（小林理事・白書副委員長） 2015 年のアンケートをたたき台にして新たなアンケートを作成するワーキンググループのメンバーを各部・委員会等から選出してほしい。

16. 2019 年厚生労働省受託事業「介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会全国設置運營業務」について 書面報告。

17. 活動報告等

1) 会長及び業務執行理事の 2020 年 3 月期活動報告 書面報告。

2) 協会各部署の 2020 年 3 月期活動報告 書面報告。

3) 渉外活動報告（中村会長） 介護予防と地域保健の一体的運用についての報告書に、リハ職種の職名記載がされた。

4) 2019 年度他職種・団体等の協会代表委員名簿 書面報告。

5) 日本作業療法士連盟活動報告（2020 年 3 月 7 日～4 月 13 日） 書面報告。

6) 訪問リハビリテーション振興財団の動き 書面報告。

18. その他

（中村会長） 千葉県士会との倫理案件について、4 月 24 日にお会いしておわびする予定だったが、Zoom で行うこととなった。

（藤井常務理事・教育部長） 新型コロナウイルスの影響で臨床実習が難しくなっていることについて、厚生労働省と協議していく。

(長尾監事) N95 マスクに関する厚生労働省の通達を周知してほしい。

II. 審議事項

1. **2019 年度決算及び監査報告について** (岡本理事・財務担当) 当期一般正味財産増減額 1 億 2,181 万 2,895 円の黒字、一般正味財産合計は 7 億 7,319 万 3,176 円で決算を終えた。(長尾監事) 会計処理、業務執行は良好で、特段の問題はなかった。 →承認

2. 新型コロナウイルスへの対応について

1) **2020 年度定時社員総会の開催方法について** (中村会長、宮井事務長) 政府の緊急事態宣言の発令を受け、経済産業省・法務省の「株主総会運営に係る Q & A」等に基づき、定時社員総会の開催方法を再度見直したい。 →承認

2) **第 54 回日本作業療法学会の開催の可否について** (能登学会運営委員長) 国内の感染状況を見きわめるため、現地開催可否の判断について、次回の理事会 (5 月 16 日) で決定したい。 →継続審議

3) **事務局職員の在宅勤務** (香山副会長・事務局長、宮井事務長) 1) 在宅勤務に耐える業務環境の整備を図りたい。2) 在宅勤務の延長及び終了に関する判断基準を確認したい。 →承認

4) **新型コロナウイルスの影響によるシステム公開の延期** (中村会長、香山副会長・事務局長) 新型コロナウイルスの影響により職員が在宅勤務になっており、十分な準備ができないため、1) 新システムの公開を見合わせる。2) 緊急事態措置の解除または状況が大幅に改善して必要十分な担当職員の出勤が可能となった後、3 週間ほどの準備期間を設けた上で新システムを公開する。 →承認

3. **臨床実習指導者実践研修制度規程および細則 (案) について** (藤井常務理事・教育部長)
→継続審議

4. **2021 Taiwan-Japan Occupational Therapy Joint Symposium の延期の提案について** (大庭常務理事・国際部長) 台湾作業療法協会から、2021 年に予定していた Taiwan-Japan Occupational Therapy Joint Symposium を、2022 年の台湾作業療法協会設立 40 周年国際学会と同時に開催したいと打診があり、これを了承したい。 →承認

5. **協会著作「事例で学ぶ生活行為向上マネジメント」第 2 版発行に向けて** (大庭常務理事) 2015 年以降の MTDLP の成果及び情報整理を行って修正すべき点を改め、2018 年に発

行されたマニュアルとの整合を図る。事例を中心に構成し、臨床実習に関する項目を加える。法人著作物に関する規程では執筆者に報酬を支払わないとされているが、初版時と同様に執筆者へ原稿料を支払う。 →継続審議

6. 事務局職員体制の整備について（香山副会長・事務局長） 1) 事務局の職員体制を資料 26 の図のように整理し、中間管理職を「主任」と命名する。2) 主任は配下の職員に指示を行い、一次的な決裁を行った上、事務長に決裁を求める。3) 主任には月額 2 万円を支給する。4) 今回の提案は暫定的なものであり、1 年単位で見直していく。 →承認

7. その他

以上